

土木森林環境委員会 県内調査活動状況

1 日 時 令和5年11月13日（月）

2 出席委員（9名）

委員長 長澤 健

副委員長 飯島 力男

委員 望月 勝 水岸富美男 渡辺 大喜 土橋 亨

白壁 賢一 佐野 弘仁 福井 太一

3 欠席委員 なし

4 地元議員 笠井 辰生

5 調査先及び調査内容

（1）【芦川橋（基幹河川改修事業費）、富士橋（県道橋りょう改築費）】

○調査内容

西八代合同庁舎大会議室において、当事業の概要説明を受けた後、芦川橋（西八代郡市川三郷町）、富士橋（南巨摩郡富士川町）の現地調査を行った。



（2）【身延町立身延中学校（新校舎）】

○調査内容

身延地区公民館下山分館において、当事業の概要説明を受けた後、建設中の身延中学校新校舎の現地調査を行った。

主な質疑

問) 資料の概要に、教育委員会の役割として「木の温かみと潤いある学習環境を活用して、森林や木材に関する学習機会の充実」とあるが、身延町教育委員会としてどのような学習の機会を子供たちに提供しているのか。

答) 中学校が完成してから教育をするのではなく、建設中から教育を行ってきた。

例えば、小学校3年生から6年生まで全員が大きな梁材に自分の夢を書いて、あえて職員室の上に入れてある。それには、先生達に子供の夢を叶えるようにしっかり教育をして欲しいという願いがある。

あとは、子供たちがゴミを取って綺麗にした和紙の材料となる楮を使って、西嶋和紙を階段や廊下に材料として使っている。

もう1点は、中学校を使って、中学生2年生と3年生を対象に、今ではほとんどの子供が経験したことがない上棟式をし、1年生については、キャリア教育ということで、専門家が校舎の中の構造などを説明した。

それ以外にも、甲府工業高校や青洲高校の建築系の生徒が、何回か見学に来ている。

今後、建設が終わってからは、木造の温かみや、LVLは鉄筋・鉄骨と比べても軽くて強度があるということも含めて、子供たちに木のよさを味わってもらいたいと思っている。

答) 今回使用している町産材については、伐採から加工、また建設までの映像を残してあり、1つの映像としてまとめている。今後、在校生や新入生オリエンテーションの中で学習として使っていただけると考えている。

問) 非常にすてきな取り組みを行っていると思う。新校舎で過ごすことができない中学3年生は、非常に残念だが、将来の夢などを梁に書いて、そのもとで学びができる、そして学習が提供できることは、教員にとってもすごく幸せな環境であると感じた。

あと1点、今後、小学生や中学生に対して、林業に関しての学習の提供について、どのように考えているのか。

答) 子供たちへの林業、それから森林の重要性の発信については、校舎建設事業の中でも、木材協会の協力も得ながら、木材利用や森林の重要性を子供達に伝えられるようなプレートの設置を検討していると聞いている。

それから、林業の担い手確保の問題等もあり、森林・林業をより理解していただくために体験ツアーを実施している。今年度も2回実施しており、一部子供にも参加してもらって、より森林・林業の理解を深めてもらうために事業を実施している。

